

これからの横芝光町

No. 4

篠本新井地区で265・1ヘクタールの

基盤整備事業を開始

経営体育成基盤整備事業（篠本新井地区） 計画の概要

▼篠本新井地区で 基盤整備事業

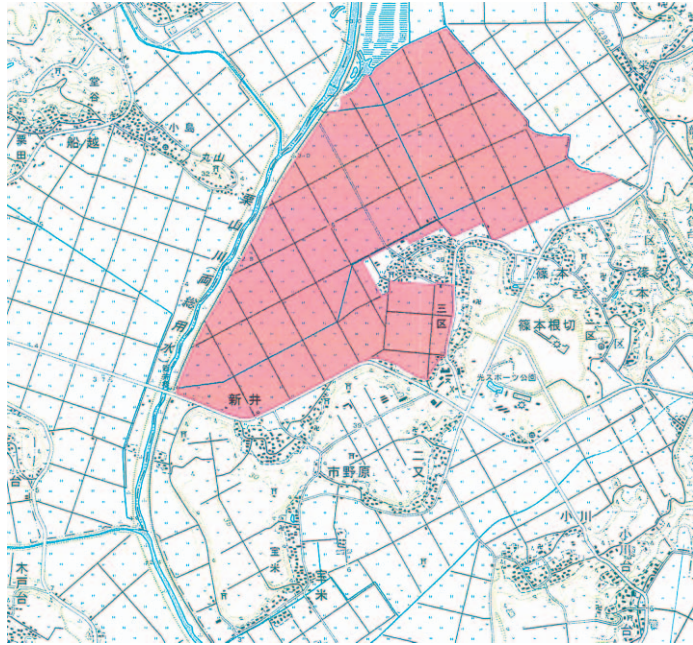
基盤整備事業は、ほ場（水田）に用水路（パイプライン）・排水路・道路を配置し区画を大きく整形することで、効率的で安定的な農業構造を作り上げる事業です。

▼地区の現況



篠本新井地区の雨水被害

篠本新井地区は、広大な水田が広がる日吉地区の栗山川沿いに位置し、良質な米が生産されています。昭和16年から20年にかけて



篠本新井地区位置図

て10アール区画の水田と農道が整備され、今日まで約60年、町を代表する優良な水田地帯として稲作経営が行われています。

しかし、近年農家の兼業化が進み、若い就農者の減少、担い手の高齢化、米価の低迷など農業を取り巻く環境が深刻さを増し、老朽化した土地改良施設の改修も思うようにできないのが

現状です。さらに、栗山川の土砂堆積等により河床が上がり、自然排水が極めて困難なため、度重なる水害に苦慮しています。

このようなことから、平成14年に優良農地を保全しながら農業を今以上に発展させ、若い人たちが意欲をもって取り組める農村を創

▼事業採択に向けた地区の活動

造するために、基盤整備事業実施に向けた研究を行う準備委員会が設立されました。現在では基盤整備事業の推進を行う事業推進委員会、集落営農の実現に向けた検討を行う営農部会、土地の価値評価等を行う換地評価委員会などの組織が設置され、来年度の事業採択に向けた取り組みを行っています。

▼環境に配慮した事業

事業の実施にあたり、排水路を中心とした生態系や景観に配慮した施設を計画しています。

また、地区内に生息する動植物の調査のため、日吉小学校6年生の協力で7月と9月に「生き物調査」を実施しています。

▼事業計画の概要

- 区域面積 265・1ヘクタール（農用地・道水路等）
- 事業主体



整備が開始される篠本新井地区

- 事業期間 千葉県 平成20年度から平成25年度まで
- 事業費 35億5千万円

- 負担区分 国 50% 県 30% 町 10% 地元 10%
- 事業内容 区画整理 道路工 用水路（パイプライン）工 排水路・排水機場工 暗渠排水工